

お得意様各位

## 「C-バリア」の導入について

拝啓

時下ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。平素より弊社取り扱い補聴器に格別なるお引き立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。

さて、このたび弊社オーダーメイド補聴器の耳垢ガードへ新たに「C-バリア」を追加導入することとなりました。つきましては下記に製品の詳細と取り扱い方法についてご説明させていただきます。

今後とも弊社製品をご愛顧いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 【商品名】     | C-バリア (C-Barrier)                |
| 【特長】      | ポリエチレン系のフィルムを使用し、耳あかや水分などの浸入を防ぐ  |
| 【導入時期】    | 9月1日(月)より受注受付開始                  |
| 【補聴器への添付】 | 補聴器本体に1個装備、予備として1本添付(C-バリア選択時のみ) |
| 【アクセサリ販売】 | 4本入り 定価 3,150円(税込み)              |
| 【ご注文の方法】  |                                  |

| オプション       |                          |                                                  |
|-------------|--------------------------|--------------------------------------------------|
|             | 左耳                       | 右耳                                               |
| ベント         | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> メーカー一任                  |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> なし                      |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 1.0mm                   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 1.5mm                   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 2.0mm                   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 2.5mm                   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 3.0mm                   |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> その他( )                  |
| ベントチップ      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> (ベントが1.0mmの場合はご指定できません) |
| ベント形状       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 標準                      |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 溝ベント                    |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ストップベント                 |
| 耳あかガード      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 標準                      |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> その他( )                  |
| 耳道の長さ       | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> メーカー一任                  |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 長め                      |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 短め                      |
| 取り出しテグス(無償) | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 標準                      |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> ループ                     |
|             | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> テグスなし                   |
| テレコイル(有償)   | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>                         |

「オーダーメイド補聴器 注文書」の

“耳あかガード”の欄に“その他”があります

“その他”の( )内に「C-バリア」とご記入ください

基本的には耳あな型の補聴器であれば器種を問わず選択可能ですが、耳の形状によっては作製できない場合があります。

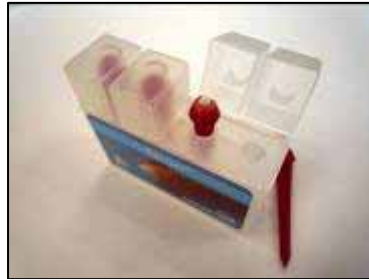
C-バリア仕様で作成した場合、他の種類の耳あかガードへの変更は出来ませんのでご注意ください。なお標準はこれまで通り「セルストップ」となります

2008年8月8日 Product Management

### C-バリアの写真



C-バリアケース(閉)



C-バリアケース(開)



ホルダー

### C-バリアの図解



C-バリア



ホルダー

### シェル先端部の形状

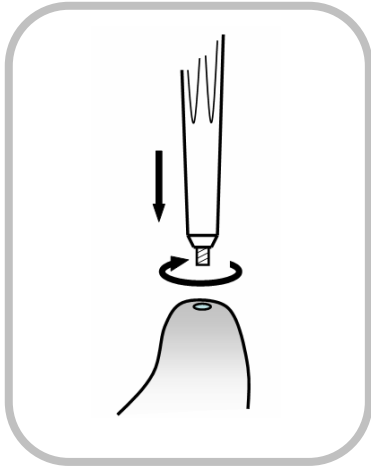


C-バリア装着時

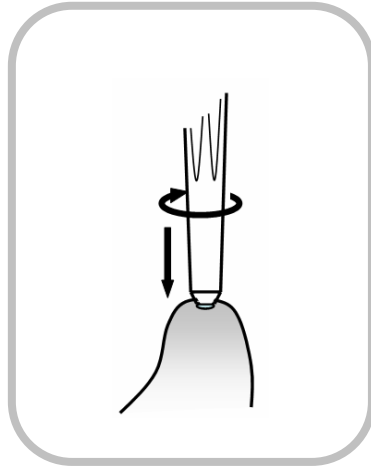


C-バリア脱着時

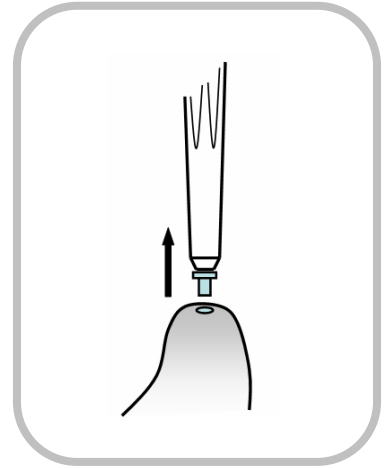
## C-バリアの交換方法



1)ホルダーの細い方の先端を時計回りに差込んでください

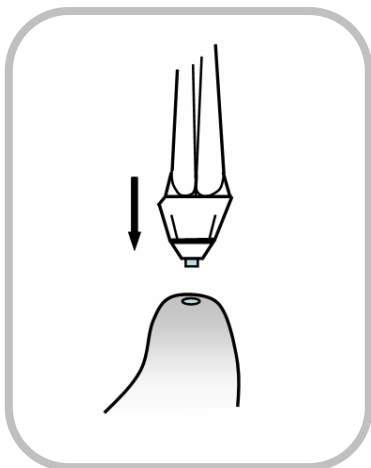


2)先端のネジ部が隠れるまでしっかり回してください

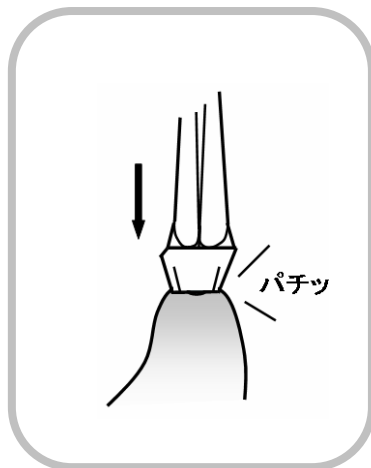


3)ゆっくりと引き上げてください

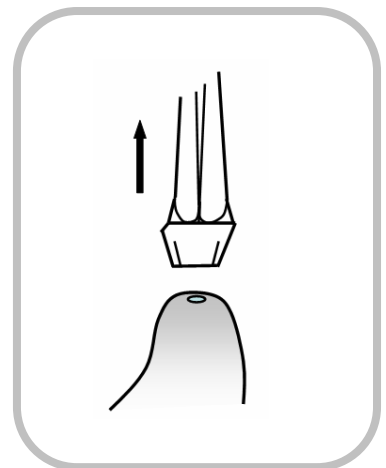
交換時フィルムは必ず破れますのでご注意ください



4)新しい C-バリアを真っ直ぐ差込んでください



5)少し強めに押し込むと、「パチッ」と音がしてはめ込まれます



6)ゆっくりとホルダーを引き上げてください

## C-バリアのメンテナンス



正常な状態



フィルムが損傷している状態

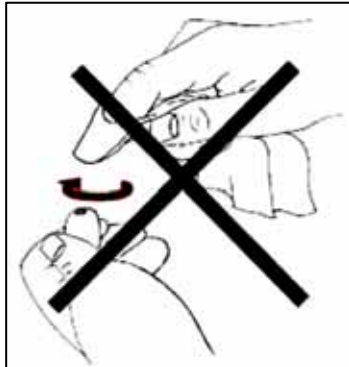
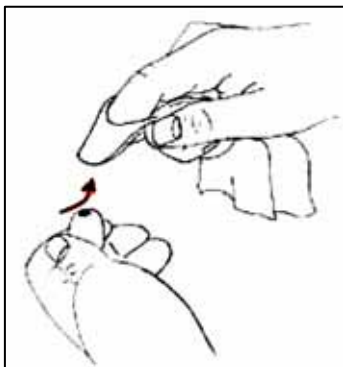
メンテナンスは下記の要項を守って下さい。取扱いによっては損傷を招く場合があります(右図)。

## 【C-バリアのクリーニングについて】

耳あか等の汚れが付着した場合は付属のクロスなどを使って拭きとって下さい。

その際には一方向にやさしく撫でる様に力を加えないようにして下さい。

また、円を描くように拭き取ったり、水で流したりしないで下さい。



## C-バリアの取扱いに関するその他注意事項

- 20～40 の環境でご使用下さい(保管は-10～60 の範囲内)
- 直射日光下に1時間以上さらさないで下さい。硬化し劣化を早めます
- 交換時以外にホルダーからC-バリアを外さないで下さい。C-バリアが装着できなくなります。
- 減圧式の乾燥機に掛けないで下さい。フィルム部に負荷がかかり、劣化を早めます
- 掃除にブラシを使用したり、強くこすったりしないで下さい。破損の原因となります
- 掃除にバキューム等の使用は避けて下さい。同じく破損の原因となります
- 交換時以外は一度装着したC-バリアを取り外さないで下さい。維持力を失い脱落および破損の原因となります

以上